

プログラム

インタークト地区大会報告

顧問 三田村万紀子先生

二年生 宮川千夏さん 玉村千夏さん

河野吏華さん 内藤早紀さん

一年生 山本綾香さん 岡山まどかさん



2012年12月15・16日に、国際ロータリー第2650地区2012~2013年度インタークト地区大会に参加しました。宇治の立命館宇治高等学校で行い、プラムイン城陽に宿泊しました。

吹奏楽部によるオープニングセレモニーで最初から盛り上がり、間もなく前夜祭が始まり、記念講演「文明の質が問われる時代」という宇宙飛行士の秋山豊寛氏の講演を聞きました。秋山氏は「何が正しいかを知り、自分を信じること。迷うこと、決められないことはステキです。だから、今の高校生にはなぜ?どうして?と言う自分で練って考える時間がもっと必要だと思います。」とおっしゃいました。

私はこのことを聞いて自分の生活と比べ、確かに自分は疑問を感じ、練って考える時間が少ないのではないかと考えました。なにかに疑問を持ち、自分で調べて解決していくことが欠けているのは新しい発見をする機会を自分から放棄してしまうということと同じことだと思うので、これからたくさんの事に疑問を持ちその分の知識をつけたいなと思います。

次に、バスで宿泊先に移動しアクトの集いを行いました。そこでは、すべての学校の人たちと関わるゲームを行い、初めて会う人が多い中たくさんの人との出会いまた交流ができました。ビンゴゲームでは、宇治の歴史問題が使われていることがあり、宇治の事が1日目にして少しだけですが知ることができました。2日間の中で、1番多くのアクトと一緒にあうことができた楽しい時間を過ごすことができたと思います。

次に2日目には、再び立命館宇治高等学校で本大会が行われました。本大会では、歓迎のあいさつや、記念講演などがありました。記念講演では「宇治は都のはずれ、悲哀の街」と題した記念講演で、元校長北村氏が話をされました。宇治の歴史をパワーポイントでプレゼンされ、宇治の平等院鳳凰堂は1052

年の末法思想が広まったころに飢饉などが全国各地で広まり、藤原頼通が平民の極楽浄土へ行きたいという願いを込めて建てたそうです。

記念講演の後、それぞれのエクスカーションへとわかれました。Aグループは「福寿園宇治茶体験」Bグループは「宇治川女性鶴飼のお話とポイントラリー」Cグループは「宇治上神社と源氏物語ミュージアム」という、どれも宇治を肌で感じ実際の経験を通じて学ぶことのできる内容になっておりとても楽しむことができました。

次はそれぞれのエクスカーションについて報告します。エクスカーションAでは抹茶たて、玉露の入れ方を教わった後、散策をしました。抹茶たてでは臼を使って抹茶の粉を作るところから始まりました。臼は重たく、両手で回さないと回らないくらいが必要で、さらにうすを回すタイミングも一定にしなければならなかったので結構難しい作業でした。エクスカーションBで、鶴飼を行っている人のお話を聞きました。本物の鶴を見ることができ魚を丸のみしているところは、とても衝撃的でした。エクスカーションCで、平等院鳳凰堂、宇治上神社、源氏物語ミュージアムへ行きました。周りの木々の紅葉がとても奇麗で気分よくお参りできました。

最後に、まとめとしまして今回のインタークト大会に参加することにより、たくさんのアクトと出会い情報交換することができ講演会、交流会、エクスカーションなどを行い楽しい思い出を作ることができ、また、多くのことを学ぶことができました。この経験を今後のインタークトの活動に生かしていきたいと思っております。今後とも、ご支援ご指導よろしくお願ひいたします。



ニコニコ箱 19,000円

○佐々木会長 ○石川満夫 ○渡辺佳男

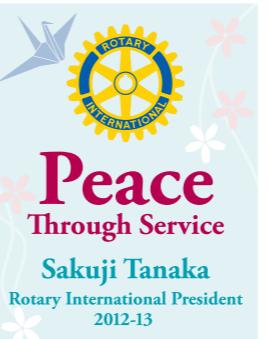
○山田洋三 ○土田秀明 ○奥村忠

○米岡房直 ○玉村一男 ○宇野晃成

○井上常宏 ○橋本幸恵

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650

2013.2.26 No. 2271



TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

Bridge the Gaps

2012-2013 第2650地区テーマ
隔たりをなくそう

創立/1954年(昭和29年)6月30日

事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内

TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館

会長/佐々木忠彦 幹事/河嶋一 会報委員長/丹羽新吾

第2856回 例会記録 平成25年2月19日(火)

会員総数61名(内出席免除会員7名) 本日出席会員40名

メークアップ(前々回) 8名

出席率(前々回補正) 78.57%

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ゲスト 武生東高校インタークトクラブ

ビジター 大阪北梅田RC 林 千晃氏

会長挨拶 佐々木会長



2月18日は「雨水」です。空から降るものが雪から雨に替わる頃です。深く積もった雪も解け始めます。春一番が吹き、九州南部ではうぐいすの鳴き声が聞こえ始めます。

2月10日夕方に越前市を出発し、ネパールへと立ちました。タイのバンコクに6:00着、5時間の乗り換え時間を経て、ネパールの首都カトマンズに昼過ぎに着きました。中国の団体が目の前にいたので、1時間30分も入国審査にかかり、スムーズには入れませんでした。直ぐに国内線に乗り換えて、ポカラへと乗り継ぎました。30分のフライトでした。

次の日の12日はポカラからジョムソンへの30分のフライトでした。前日の飛行機もプロペラ機でしたが、この日は20人乗りの小さな機でした。高度は上げられないで、箱庭の上を飛んでいる景色でした。ポカラからジョムソンまではヒマラヤ山脈に添って飛ぶので、6,000~8,000mの山々が手に取るように見えました。

エコミュージアムの維持をしている地元婦人団体20数人との今後の維持計画や不足事態の意見交換をしました。施設の壁や柱はしっかりしていそうでしたが、屋根は板敷の上に土を10cm乗せた構造なので、雨が漏って数年後の大きなトラブルが心配でした。高台に

施設があります。インド人達は階段を登らずにそのまま帰ってしまうので、入場者が微減傾向にあるという資料を提示されました。

ネパール国全体が今は乾季なので、舗装工事も十分でなく、どこへ行っても埃っぽい国だと思いました。

13日の夕食はヒマラヤ保全協会やロータリーの関係者と同席し、3時間余の奉仕活動の情報交換を行いました。

14・15日は貧しい10年生や12年生の義務教育の学校を3校訪れました。厳しい生活環境の中での就学状況でした。少しでも図書館への寄付や学校施設の充実のための援助を依頼されました。物価や給料が日本の1/20程度なので皆さん方にも是非協力をお願いしたいと思っています。

17日の早朝例会には、カトマンズのRajdhani RCを訪れました。10数人のメンバーと我々が自己紹介や奉仕活動内容を紹介しました。小さなクラブでも色々な活動を行っている報告をいただきました。是非共同でできる奉仕活動を行っていきたいと確認しました。詳しい報告は次回の夜間例会にて行いたいと思います。



今日の一言:「青春とは心の若さである。信念と希望にあふれ、勇気にみちて、日々新たな活動を続ける限り、青春は永遠にその人のものである。」サムエル・ウルマン